

# 北九州高速鉄道株式会社 移動等円滑化取組計画書

(2019年度)

## I 現状の課題及び中期的な対応方針

### (1) 旅客施設及び車両等の整備に関する事項

- ・旅客施設について、全駅へのエレベーターやホーム段差解消スロープ等の設置によりバリアフリー化を図っているが、音声等による誘導案内装置等の設置については、今後の駅舎改修に併せて整備する。
- ・車両について、全列車に1ヶ所車椅子スペースを設置しバリアフリー化を図っているが、運行情報の案内表示装置等の設置については、今後の車両更新に併せて整備する。

### (2) 旅客支援、情報提供、教育訓練等に関する事項

- ・駅係員の接遇レベル平準化を図るべく、2020年度までに全ての駅係員に対して、国土交通省が定める「交通事業者向け接遇研修プログラム」に準拠した研修を実施する。
- ・可動式ホーム柵が設置されていないため、高齢者、障がい者等に対する声かけ、見守りを実施し、指令、乗務員との連携、情報共有による安全対策を行う。

## II 移動等円滑化に関する措置

### ① 旅客施設及び車両等を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる旅客施設及び車両等	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
全駅	・音声等による誘導案内装置等の設置について、駅舎改修に併せた実施を自治体とも協議しながら検討していく。
車両	・運行情報の案内表示装置等の設置について、車両の更新時期に併せた実施を検討していく。

### ② 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
乗降補助サービスの提供	全駅に常時1名の係員を配置しているため、介助が必要なお客様には積極的な声かけを行い対応する。(2019年度)

③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
乗降補助サービスの提供	乗降補助サービスの提供にあたり、駅頭に声かけ・サポートに関するポスターを掲出することにより、取組みの周知を行う。 (2019年度)

④ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
接遇研修の実施	・同業他社の外部講師を招聘し、全ての駅係員を対象とした接遇研修を実施する。(2019年度)

Ⅲ 移動等円滑化の促進のためⅡと併せて講ずべき措置

・障がい者団体との意見交換を実施し、現状の問題点等の共有を図り、移動等円滑化のために必要な措置を検討する。
---